

---

## 編集後記

「新潟県中越沖地震」により被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。

本年3月に第一回京都在宅リハビリテーション研究会研究集会を終えてから早5ヶ月が経過し、やっと京都在宅リハビリテーション研究会誌を創刊することができました。

創刊にあたりましては、渡邊 決京都中央看護保健専門学校校長、平沢泰介京都府立医科大学名誉教授、横田昇平京都府南丹保健所所長、勝見泰和宇治武田病院院長から御指導を賜るだけでなく、御言葉まで賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、創刊に際し御協力を賜りました多くの方々に、厚く御礼申し上げます。

研究会の名称になっております「在宅リハビリテーション」には、在宅に向けてのリハビリテーションと在宅におけるリハビリテーションという二つの意味を込めております。これはリハビリテーションが単なる疾病の後療法ではなく、生活と人生の視点から新たな価値観を構築するという本来の意味を再認識しようという決意でもあります。

世間では、「リハビリが大事」、「リハビリをしてもらおう」といった風に用いられ、「rehabilitation」は「更生」の意味から少し違うところで一人歩きしている観があります。リハビリテーションの本来の意味を認識して頂くためにも、本道を貫いた雑誌を作っていくつもりです。

皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

平成19年8月17日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人 代表 松本和久

.....

---

京都在宅リハビリテーション研究会

創刊号

©平成19年10月10日発行

編集者 京都在宅リハビリテーション研究会事務局  
(松本和久、木村篤史、富田健一、永山智貴、小西倫太郎、林愛子、  
神田佳明、松本渉、垣村将典)

発行者 松本和久  
〒629-0392 京都府南丹市日吉町  
明治鍼灸大学附属病院 総合リハビリテーションセンター  
TEL 0771 (72) 1221

印刷所 光和印刷